

のぞいてみよう！

# となりの協調学習！（１）



平成27年5月14日  
安芸太田町教育委員会（担当：萩原英子）

今年度は、「協調学習」の情報を町内で共有したいと考えています。不定期で発行予定ですが、先生方の実践に役立てていただければ幸いです。

## 第1回安芸太田町協調学習研修会開催！

4月30日（木）午後、戸河内中学校を会場に、町内の協調学習研修会を開きました。新年度早々の開催のため、どれくらいの方が参加して下さるか心配でしたが、今年度本町に来られた先生方を中心に26名の参加をいただき、研修をすることができました。ありがとうございました。研修会の様子を紹介します。

### （１）公開授業【原田優次教諭】

「卒業論文に挑戦しよう 一文のパズルと小論文一」

（中3：総合的な学習の時間）

写真

写真

形式段落でバラバラにされた文章をエキスパート活動で学んだ「論理的構造を読み解くカギ」を使って、関連性を明らかにしながら再構成する課題です。

最初は、？マークいっぱいの表情の生徒たち。徐々に活動が進むにつれ、自らの中で解を見つけるとともに、友達との対話を通して、より確実な納得が得られ、自信に満ちた表情になっていきました。クロストークでの意見発表もそれぞれが納得した言葉で説明がされていました。

まさに、協調的な学びによって、「より賢くなった」生徒たちの変化が印象的な授業でした。

### （２）研究協議

①「協調学習」の基本的なことについての説明の後、授業者の原田教諭が、この教材に込めた思い、「協調学習」に出会ってご自身が感じられている熱い思いを語っていただきました。

### ②グループ協議

「主体的な学び」とはどのようなものかについて協議した後、「協調学習」についての疑問や不安などもグループごとに整理して発表していただきました。町内の実践者がそれに答える形で進めました。すべては紹介できませんが、一部紹介します。

**Q：グループは3人がいいの？**

A：絶対3人でなければならないというわけではありませんが、3人には意味があります。話し手・聞き手・傍観者。この役割を自然と交代しながら、対話は進んでいき、そのことが学びを深めていくのに有効です。しかし、人数によって3人が組めないこともありますので、それ臨機応変に。ジグソー活動はできるだけ3人に近い数がいいかと思います。

**Q：指導者の役割は？**

A：授業中、原田先生は授業のコーディネーターとしての動きしかされていませんでした。授業をしっかり計画したら、あとは子供たちの力を信じて、聞き役に。タイムキーパーとよい聞き手に徹してみましょ。



**Q：評価はどうするの？**

A：授業前後に課題に対する個々の考えを書かせる活動を取り入れています。その量や質の変化、関係付け、生活や次の課題への広がりなどを見取ることによって評価できます。それぞれの活動で子供たちがどのような発話をしているのかしっかり聞き取ることも大切。今求められている「コンピテンシー（資質・能力）」をどのように見取り、評価していくのかは、これからの研究を進めていく必要があります。各校でもぜひ協議してみてください。

**Q：教材づくりは難しそうですが…。**

A：まずは、COREFのHPや報告集にある教材を使ってみましょう。教材を使う際には、自分のクラスをイメージして、必要に応じてアレンジを加えるといいです。何度か授業をしてみて、子供たちの学びの姿を体験してください！

#### ☆参加して下さった方の感想・新しい疑問など・・・

- 主体的な学びを引き起こすための仕掛けが必要だということを感じました。
- 和やかな雰囲気の中で全員が脳みそをフル回転しているので驚きました。
- 協調学習には、自分が思っているよりはるかに大きくて深い意欲、次への向上心がある。
- 「建設的相互作用を通して自分の考えを深める」こと教えられた知識ではなく学んだことが残るものだとわかりました。
- 「学びの場」を提供するという意識の変革が必要であると感じました。
- 知識構成型ジグソー法以外にも協調的な学びを引き起こす手法もあるのだろうか？

☆町内の先生方が顔を合わせたときに「主体的な学び」や「授業づくり」について語り合えるといいですね。協調学習に関するご相談は、いつでも22-1212（萩原）までご連絡ください！一緒に考えてみましょう♪

